

視察・活動

■ 認知症予防・改善「心身機能活性運動療法」研修会参加

(1月9日・利府町コミュニティセンター)

■ 条例の会仙台の皆様と「(仮称)仙台市障害者差別禁止条例」についての意見交換会参加

(1月18日・仙台市役所)



■ 2015年度みやぎ生協議員懇談会参加

(2月4日・太白区)

■ 政令都市で不妊・不育症支援に先進的に取り組んでいる京都市の視察

(2月8日)

■ 地下鉄東西線荒井駅に併設された「せんだい3.11メモリアル交流館」開館式参加

(2月11日・若林区)

■ 国指定重要無形民俗文化財・ユネスコ無形文化遺産である秋保の田植踊など6つの伝統芸能が一堂に会しての「あきうの風・湯の里民俗芸能大会」を鑑賞

(2月13日・太白区)

■ 太白区地域活動推進委員会研修会参加

(2月15日・青葉区)

■ 東日本大震災仙台市追悼式参加

(3月11日・宮城野区)

■ 津波で甚大な被害を受けた南蒲生浄化センターの視察

完成に10年を要するところ、全国から25万人の応援をいただき3年半という短期間で世界に誇る施設として完成しました。

(3月14日・宮城野区)



■ 総合交通調査特別委員会の視察

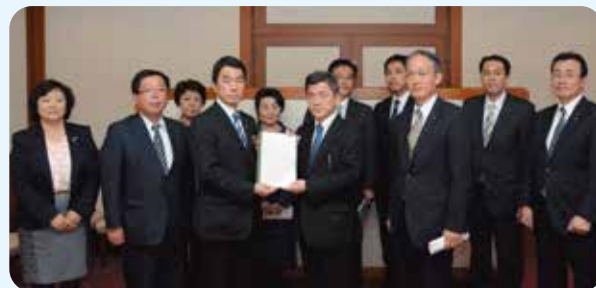
富山ライトレール(株)、金沢大学環境デザイン学系長・学類長 高山純一氏の「交通の視点による金沢市のまちづくり」講演

(3月16日～17日・富山市・金沢市)

■ 第9回東日本大震災からの復旧・復興に関する要望書を村井県知事へ提出

第5次プレハブ仮設住宅・復興公営住宅に関するアンケート調査結果から

(3月23日・宮城県庁)



■ 大震災の津波で甚大な被害を受けた宮城野区蒲生地区の市民植樹に参加

(3月25日・宮城野区)



仙台市議会議員 さとう和子 活動レポート 第17号

スマイル通信

Sato-Kazuko Smile report

2016年春号

〒982-0804 仙台市太白区鉤取2丁目1-3 TEL&FAX 022-245-7245

E-mail:sato@sendai-komei.jp URL http://www.sato-kazuko.net



あした
あなたの未来に笑顔と元気を!

一人の声を大切に! 100万人の笑顔のために!

春陽の候、皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃より、格別なご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

この度、平成27年度補正予算及び平成28年度予算審議の第1回定例会での議会質問等のご報告として「さとう和子スマイル通信2016春号」を作成いたしました。ご一読いただければ幸いです。

今議会では、人口減少時代を見据え、不妊・不育症支援、不登校や発達障がいの子どもの抱える保護者の切実なお声を通し、子育て支援を中心に、課題の改善を求めて質疑に臨みました。課題解決には、様々な要因が絡みあっており、引き続き調査活動を重ね、希望を持って生活ができる仙台市を目指して取り組んでまいりたいと思います。

これからも「現場の声」「当事者の思い」を大事に全力で働いてまいります。

今後とも、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

2016年4月吉日 仙台市市議会議員 さとう 和子

■ 看護専門学校を妊産婦避難所として指定が決定!!

平成28年度に仙台市は、市内2か所の看護専門学校と県の助産師会と協定を結び、妊産婦避難所として指定することになり、準備を進めております。

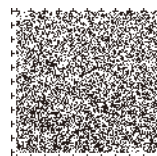
平成25年第2回定例会の一般質問において、大震災の教訓を生かし妊産婦・乳幼児の防災対策として、精神的負担を軽減し、速やかに安全な場所を確保するとの観点から、全国初の東京都文京区の事例を通し、母子避難所の設置を訴えておりました。今議会では、さらなる拡充を求めたところ、当局からは、「さらに看護学科を擁する大学等にも順次、協定締結の要請を行い拡充に取り組んでまいりたい」との答弁がありました。

(2月20日付 河北新報に掲載)

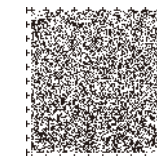


● 街頭からのご挨拶

週2回・朝と夕方、
行っております。
(2月5日 定禅寺通にて)



SPコードは視覚障害者の方のための「文章読み上げ装置」用のコードです。
装置は、仙台市内各区役所に設置してあります。



SPコードは視覚障害者の方のための「文章読み上げ装置」用のコードです。
装置は、仙台市内各区役所に設置してあります。